

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成21年11月2日
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

照らし出す鏡

松扉哲雄

現下の社会状況の中で、人間として生きるには何が最も必要なのだろうか。何よりも内を見る目が開かれることこそ必要ではないか。

ある所でお話を終わって部屋に帰ると、お寺の総代さんが挨拶にみえ、そこでの話である。この総代さんは半月ほど前までに、その町の町長を三期務められた。そうした自己紹介の後で、こうおっしゃる。「先生、人間というものは薄情なもんですね」と。私はすかさず、「他人が薄情に見えるときは、わが身の薄情なしるしと思えと、お釈迦さまは教えて下さいますがね」と。すると、この総代さんはすこしムツとなさった。そこで私は尋ねた。「あなたはなぜ他人が薄情だと言うのか」と。

総代さんの言うには、自分が町長在職中には、いろいろな人が朝早くからいろりの所まで上がりこんで来て、あれを頼む、これをお願いしますと、頭を下げて行ったのです。また、道で会っても丁寧におじぎをしてくれました。ところが町長を辞めると、十日もたたぬうちに、ひどい者は道で会っても挨拶もしなくなる。あの人にもずいぶん世話をしやっただのになあと思うと、人間というものは何と薄情な者だと思ってしまう。

そこで私はこう尋ねた。「あなたは先ほどの話で、一週間ほど前に県庁へ挨拶まわりに行ってきたと言うておられましたね。挨拶まわりは長い間お世話になったお礼でしょうか、まあ知事や部長や各課長へは挨拶なさったでしょうか、課長補佐や係長へはどうですか」と。すると「いや、そこまで挨拶しとるわけにはいかなかった」という。そこで私はこう話した。

「そうですか。それでは、あなたが帰った後で、各課ではどういういたでしようね。あの町長も在職中にものを頼む時は、課長どころか係りの我々の所まで頼みに来たが、辞めたら課長止まりか。何と薄情なものだ。こう言うてないでしようかね。そうすると、お釈迦様のお言葉にうそ偽りはないでしよう。それから、もう一つ大事なことがある。在職中に皆があなたに頭を下げたのは、あなたを尊んだのではない。言うてみれば、砂糖の入ったガラス瓶に蟻がたかるようなものだ。砂糖が目当てなのです。砂糖のないガラス瓶に蟻はたかりません。皆は町長という権力の汁が欲しくてやってきたのでしよう。だから、町長を辞めたあなたに頭を下げなくなったのは当然です。あなたにはもう吸う権力の甘い汁はないものね。その人たちは新しい町長の所に頭を下げて、甘い汁を吸いに行ってますよ。この厳然たる事実を目を覚ますことが大事なのではないですかね。いつまでも、『してやったぞ』を握りしめて、苦悩の中を生きねばならないこの身に目覚めることが大切なことではないですか」

我らに今必要なものは鏡ではないか。この身を明らかに照らし出す鏡。「教は経なり鏡なり」という。聞法によって本当の自分にであって目覚めて生きるということが、この騒々しい生きざまの中に身を置く現代人に要請されているのではないか。いつでも自分の見える所に立って生きてゆきたいものである。

バスハイク・国東昭和の町へー 皆様と共に



宇佐市 崇福寺 参拝ー ご縁を頂いて

百歳の誕生を祝う



牛島アキ様、おめでとうござい



正善寺ご門徒のなかで最年長でいらっしゃいます。お身体いたわりください。

正善寺ホームページ開設中・・・パソコン・インターネットで開いてみてください。

平成21年度分 報恩講の際ご進納ください。総代会

- * 『お仏飯米』 お米を「仏飯米供物袋」に入れてお届け願います。
- * 『門信徒護寺会費』 一世帯について 年間1口金 3,000円 以上
- * 『納骨所維持管理費』 当山納骨所使用の方 管理費年間金 3,000円

いづれも過年度分未納額がありましたら納入方お願い致します。不明の場合お尋ね下さい。

ご 案 内

御 正 忌 報 恩 講 法 要

| 11月 | 13日(金) | 14日(土) | 15日(日) |
|-----|---------|---------|------------|
| 昼席 | 午後1時30分 | 午後1時30分 | 午後1時30分 |
| 夜席 | 午後7時30分 | 午後7時30分 | おとしき 12時より |

講師

(大分県宇佐市・崇福寺前住職)

本願寺派布教使 前田賢聖師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

みんなでピカピカ!!

「お磨き」11月10日(火)

10:00より15:00まで

報恩講を迎えるにあたり寺院金仏具を磨きます。 **昼食準備しています**

正善寺女性の会「かすみ草の会」お磨きとあわせ開催します。お集まりください。

「お斎接待」ご案内

正善寺の精進料理を

お召し上がり下さい。

11月15日(日) 正午より

《お斎券》をお持ちください

かすみ草の会の皆さんは 9時集合

来年(22年)の年忌法要

()内は来年の対象年次数です。

- ・ 一周忌 (平成21年往生)
- ・ 三回忌 (平成20年往生)
- ・ 七回忌 (平成16年往生)
- ・ 十三回忌 (平成10年往生)
- ・ 十七回忌 (平成6年往生)
- ・ 二十五回忌 (昭和61年往生)
- ・ 三十三回忌 (昭和53年往生)
- ・ 五十回忌 (昭和36年往生)

仏様はいつでも皆様を見守って下さっています。



行事ご案内【報恩講は浄土真宗門信徒の最も大切な法要】

第75回 おゆうぎかい

とき 12月5日(土) 9:30より
ところ 神岳保育園ホール

ぼやのかね 除夜会

12月31日(木) 大晦日

午後11時より 午前1時まで

平成22年修正会

元旦 午前1時より(除夜会終了後)

忘年会!!

1年間お世話になりました。今年もたくさんのお出遇いをいただきました。ありがたいことです。年の瀬のひと時を皆さんと共に過ごしたいと存じます。昨年好評でした「ふぐ・松茸の大盛り」として、今年も、本堂での開催と致します。気軽にご参加ください。お待ちしております。

とき 12月12日(土) 17:30より

ところ 正善寺本堂

会費 男性 4,500円 女性 3,500円

子ども 500円 当日集めます。

申し込み 12月8日までにお寺へ申込み

次回の法要のご案内

春季彼岸法要

【とき】 平成22年3月17日(水)・18日(木)・19日(金) いづれも昼席のみ

【講師】 行橋市 廣宣寺 住職 本願寺派布教使 小

松 敏 英 師

編集後記

『再び通らぬ 一度きりの尊い道を

いま歩いている』

稲穂が黄金色に輝く景色の中を、ご門徒、有縁の方々
とバスハイクに出かけることが出来ました。バスの中
では出発と同時に、「カン〇〇ル」の蓋がプシュプシュと空き、楽しい旅の始まりです。ガイドは
住職と私、二人とも皆さんに如何に楽しんでいただこうかとウキウキして嬉しいカの入れ方
です。皆さんもバスの中での自己紹介の場面では、本当に楽しい会話をして下さい『すごい!!』
の一言。前の席から聞かせていただいている、本当に有難いなと手を合わせずにはおれません。
どなたも『ご縁を頂いて・・・』と下さる事、ご縁を頂いていたのはこちらの方なのに、そ
んな風に思っていてくださることが本当に有難い旅でした。バスハイクの目的のひとつ、里の崇
福寺へも庫裏会館が新しくなり参拝することが出来ました。お寺の山門が遠くに見え始めた頃、
山門の前で兄と義姉が待っていてくれました。父と母、姪も私たちの参拝を心から喜んでくれま
した。21年前、同じ黄金色の景色の中を、正善寺へと嫁いでいく道は『私に務まるの?』と不
安でいっぱいでした。21年後、ご縁を頂いた大切な方々と、里へ行く道は喜びでいっぱい
でした。二つの道、どちらも私にとっては尊い道です。仏様のお心につつまれた『いつも見守っ
てるよ』と守られている道だったのです。気付く心さえ持てれば、贈り物の無い日など一日も無い
ということ、一步一步歩いているその姿にいつも願いがかけられているということ、秋の黄金
色の景色の中で感じさせていただくことが出来ました。11月は大切な「御正忌報恩講」どうぞ
お参り下さいませ。仏様からの贈り物がきっとあります。 称 名